

科目名	社会調査の基礎						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	2年	開講時期	後期	単位数	2単位
担当教員	久保 美由紀						

内容および計画	社会調査の意義と目的、そしてその方法の基本について学びます。そのうえで、社会福祉調査の実施に必要な倫理、知識、技術の基本を理解していきます。また、学んだことを踏まえて調査票の設計等の演習も取り入れながら学びます。
1	社会福祉と社会調査
2	社会調査とは何か
3	社会調査の歴史
4	量的調査の方法 量的調査の特徴と種類
5	量的調査の方法 調査票の作成と回収
6	量的調査の方法 調査結果の整理と集計
7	量的調査の方法 調査結果の分析
8	質的調査の方法 質的調査の特徴と種類
9	質的調査の方法 質的調査の方法
10	質的調査の方法 調査設計と調査手続き
11	質的調査の方法 調査結果の分析
12	社会調査における倫理と個人情報の保護
13	社会調査実施におけるITの活用
14	調査票の設計
15	調査結果を読む、まとめ

教科書	適宜資料等を配布します。必要に応じて、参考書にあげる文献を参考にしてください。
-----	---

参考書	社会福祉士養成講座編集委員会（2013）『新・社会福祉士養成講座5社会調査の基礎（第3版）』中央法規 立石宏昭（2010）『社会福祉調査のすすめ（第2版）』ミネルヴァ書房
-----	--

成績評価	評価方法	割合
	期末試験	50%
	小レポート	20%
	演習課題	30%
期末試験、小レポートとは別に調査にかかわる実践演習の課題に取り組んでもらいます。		

学習到達目標	社会福祉実践における社会調査の意義について理解する。 社会調査の基本的知識、技術について知る。
--------	--

先修条件	
------	--

その他	講義科目ですが、学んだ知識を活用した実践演習にも取り組んでいただきます。
-----	--------------------------------------